



2023

Annual Report

2023.4 - 2024.3

認定NPO法人 地球市民の会 | 2023年度 年次報告書



次なる航海へ。



設立40年を迎え、2033年に向け新しい地図を描く

2023年度は、設立40年を迎え、記念事業を開催しました。以前より関わりをいただいていた懐かしい方々や、ここ数年で支援者になっていただいた方々が国内外から駆けつけてくださり、新旧の支援者が入り混じる大交流会となりました。

また、コロナが落ち着いてきたこともあり、これまでの支援者や関わっていただいた方々と改めて繋がり合う場をいくつか設け、対面での交流を重視してきた一年でした。各地まで実際に会いに行き、今の地球市民の会の活動等の現況の報告を行い、繋がりを再確認しました。

海外では、トンガ支援が本格的に動きだしました。理事やスタッフがトンガを訪問し、調査・ヒヤリング等を行っています。ミャンマーでは情勢が不安定な中、ローカルスタッフが懸命に踏ん張りながら活動を継続しています。

国内では、ウクライナ避難民受け入れ事業が2年目を迎え、帰国する人も増えていきます。そのため、一旦受け入れをストップして、佐賀にいる方々のサポートを重点的に行いました。交流事業など、「対面」を意識した事業展開を行いました。

目次

| | | | |
|---|-------------|----|-------------------------|
| 3 | 2023年度トピック | 17 | 2023年度 活動計算書・貸借対照表・監査報告 |
| 4 | 2023年度 事業概要 | 18 | 地球市民の会 40周年記念 |
| 5 | スタッフ一覧 | 19 | 中期方針報告 |
| 6 | 事業紹介 | 20 | 私たちについて |
| | | 21 | ご支援について |

NEWS 3 topics

2023年度は何といても設立40周年を無事に迎えたことです。改めてこれまで多くの方々から支えられてきたことを実感しました。また、対面での交流の復活やネットワークをより広げる活動になった1年でもありました。



1 設立40周年記念事業

記念事業を2本実施しました。第1弾は記念式典・レセプションとカンファレンスを実施。地球市民の会の今後の方向性や実現していきたいことなど、皆で意見交換する場をつくりました。第2弾は、混とんとした時代に改めていのちについて考えるため、「いのちのまつりトークライブ」を行いました。これまで繋がりのなかった方々と実行委員会をつくり、新たなご縁をいただきました。



2 4年ぶりの国際交流 in 佐賀

SDGs Academy SAGA は、日本・中国・韓国の大学生を対象とした国際交流事業です。SDGsの理解を深める研修を通し、東アジアの課題を解決できる人材を育成すること、そして共に学んだ日中韓の学生同士の交友関係が継続していくことを目指しています。コロナ期はオンラインで開催を続けてきましたが、昨年度、4年ぶりに対面での開催ができました。今後も活発な国際交流事業を続けていきます。



3 トンガ新規事業開始 —地球市民の会ぎふ再始動—

今年度、復興支援奨学金という形で初のトンガ事業を開始しました。休止状態となっていた地球市民の会ぎふが、改めて活動を盛り上げていこうと再始動しました。会長も世代交代し、新たな活動地域を検討するためトンガへのスタディツアーを企画、実施されました。これから地球市民の会ぎふは会員増強含め佐賀の本部と連携した活動を展開していきます。

「地球市民」とわたしたちの活動

他の人の幸せを自分の幸せとして感じられる人を「地球市民」と定義づけ、地域・日本・世界で活動する人材を育成しています。多くの感動を集め、多くの仲間と分かち合う。与えあい、ともに学ぶ。私たちは地球市民の輪を広げ、新しい価値を生み出していくための活動をしています。

わたしたちのミッション

世界平和と地域社会の持続可能な向上・発展を実現するため、地球市民が活躍する場を作ること

活動領域



世界とつながる機会をつくる

様々な形で世界とつながる機会を提供し「地球市民」として行動できる人を増やします。地域や世界の課題を自分事として考えられる地球市民を育成しています。



地域を元気にする

国内外問わず、地域の方が主体性を発揮し、いきいきとした地域社会を創造するサポートを行っています。地域の課題を解決することで持続可能な地域づくりを行います。



今、つらい人に寄り添う

人災、天災が日本・世界各地で発生し、被災した方々はつらい状況にいます。今、支援を必要としている人に寄り添い、迅速で適切な支援を、他団体と連携し活動しています。



学ぶ機会をつくる

日本・アジアの脆弱な立場に置かれた人に様々なスキルの習得や教育へアクセスできる機会を提供しています。地球市民として、地域の発展のため行動できる人材を育成します。

2023年度の活動

| 活動領域 | 事業内容 |
|---------------|-----------------------------|
| 世界とつながる機会をつくる | SDGs 推進プログラム P 6 |
| | 国際交流 P 7 |
| | 地球共感教育 P 8 |
| 地域を元気にする | 子どもの居場所づくり P 9 |
| | ミャンマー農業・コーヒー事業 P 10 |
| | ミャンマー開発・水力発電事業 P 11 |
| | ミャンマー環境保全・ゴミゼロ事業 P 12 |
| 今、つらい人に寄り添う | ミャンマー環境保全・植林事業 P 13 |
| | トンガ・災害後の復興支援 P 14 |
| | ウクライナ避難民支援 P 15 |
| 学ぶ機会をつくる | 地球市民奨学金 P 16 |

事務局・スタッフ紹介

日本 | 本部事務局（佐賀）

佐賀県佐賀市にある本部事務局。国内事業をはじめ海外事業のコーディネート業務などを行う。



岩永 清邦
事務局長



藤瀬 伸恵
事務局次長 /
海外事業担当



武富 有香
国内 / 奨学金
事業担当



古泉 志保
地域おこし協力隊 /
国内事業担当



大熊 奨
海外事業担当



金子 公子
総務 / 会計担当



大平 庸子
国内事業担当



碓 絢名
国内事業担当



牧野 沙也香
海外事業担当

日本 | 名古屋デスク

ミャンマー事業のコーディネート業務に加え、近隣へのファンドレイジングや講演活動を展開。



柴田 京子
ミャンマー国代表 / プロジェクトマネージャー

ミャンマー | ナウンカ村落開発センター

ミャンマーシャン州ナウンカにあり、循環型農業研修を実施。



くん・ソー・アウン
センター長



くん・シュエ・トー



くん・ティー・レー

ミャンマー | タンボジ農業畜産研修センター

ミャンマーシャン州ニャウンシュエにあり、高校生に教育・農業・学ぶ機会を提供。



マ・ワー・ワー・ライン
センター長



ウ・ウイン・シュエ



ドー・キン・サン・ウー

ミャンマー | ミャンマー事務所

ミャンマーで実施するプロジェクトの管理。



鈴木 亜香里
プロジェクト
アドミニストレーター



サイ・トゥン・エー



くん・ゾー・ソワ・マウン



サライ・ハン・ミン・
トゥールエ



コ・マンリン



マ・モー・モー・
トゥエ



マ・ミョー・
ティーダ



ム・シュエ・
リー・ウイン

ミャンマー | ライレンピー持続可能開発センター

ミャンマーチン州ライレンピーにあり、循環型農業やアグロフォレストリー農法の研修を実施。



ウ・ザベタン
センター長



ウ・ゾー・リン



マ・グンテイ



マ・トゥライ・ゼ



ウ・ピエラ



ウ・ピエロ



世界とつながる機会をつくる | SDGs 推進プログラム

学校から企業、行政まで佐賀から広げようSDGs



日本
— 佐賀県
佐賀市

topics

1 様々な業種の方や学生への講演活動を実施。SDGsの勉強会を定期的に開催しました

2 世界を知るきっかけとなる場を！毎月1回、夢の学校の子どもたちに届けています

2022年度に佐賀市の企業を中心に設立した「佐賀SDGs推進ネットワーク」。2023年度は県内・県外企業の活動報告や参加者同士の横の繋がりがづくり、意見交換などを行う研修会を実施しました。よりアクションを起こすために、SDGsの登録・認証制度についても参加者で学び、導入を検討しています。また、世界・地域の現状や活動について学ぶ、夢の学校テラスクールも実施。2023年度は地球市民の会のスタッフが話すだけでなく、外部からも様々なゲスト講師をお招きして話を聞く場をつくりました。子どもたちは課題解決に向けて活動している団体と繋がることができました。

参加者の声

小寺華恵さん
小学生



私は、テラスクールで、色々な国の文化や食べ物を学びました。外国の人に教えてもらったり、一緒に遊んだりしました。ウクライナや、ミャンマー、タイやコロンビアなど、様々な国の違いを知ることができて毎回毎回楽しいです。テラスクールで学んだ国へいつか行って、自分の目で見てみたいと思っています！

実施概要

受益対象者 | 約2,900人
支 援 者 | ふるさと納税支援者280名、佐賀市
従 事 者 | 7人

ご支援・応援・連携いただいた企業や団体など

佐賀市 | 一般社団法人和スポーツクラブさが



世界とつながる機会をつくる | 国際交流

地域でつながる国際交流、4年ぶりの対面開催！



日本
— 佐賀県佐賀市、大町町、武雄市

topics

1 東アジアの共通課題を日中韓の学生で共有し、国を超えた交友関係を構築

2 佐賀県内のホストファミリーとの交流促進！

創設当初から行ってきた事業の1つである国際交流事業。2023年度はSDGs Academy SAGAを4年ぶりに対面開催し、ホームステイも実施！日中韓の大学生が佐賀に集い、東アジアの共通課題である「災害（水害）」をテーマとし、講師の方々から災害や防災について学びました。県内の観光地を巡り文化体験等も行い、佐賀ならではの非常に実りあるプログラムとなりました。ホームステイは日中韓に加えタイの学生も対象に、県内延べ30家庭で受け入れていただきました。SDGsに関する知識を深めるだけでなく、参加者同士やホストファミリーと充実した交流を進めることができました。

参加者の声

江島春陽さん
大学生



日本や佐賀の災害と防災について多くのことを学んだ中で、災害復興支援は金銭的な支援だけではなく、人々が安心できる空間を作るという心理的な支援もあるということが特に印象に残っています。また、中国と韓国の大学生のおかげで各国の防災事情や文化の違いも学びました。この研修を今後の生活に生かしていきたいです。

実施概要

受益対象者 | 112人
支援者 | ふるさと納税280人
従事者 | 8人+ボランティア7人

ご支援・応援・連携いただいた企業や団体など

社団法人釜山韓日文化交流協会
上海海洋大学外国語学院日本語学部
佐賀県国際課 | 九州大学アジア防災研究センター
認定NPO法人日本レスキュー協会佐賀県支部
一般社団法人おもやい | PublicGate合同会社
被災地支援チームOKBASE（西九州大学） | 佐賀市



世界とつながる機会をつくる | 地球共感教育

さまざまなスキームでコミュニティを広げ、世界を知ろう！



日本一 佐賀県佐賀市、小城市、伊万里市

topics

1 ミャンマーオンラインツアーを一旦終了。次回は事業報告ベースでミャンマーのリアルをお届け！

2 「世界のお茶会」は「～出身の～さん」同士としての関係性を築くことを目的とし、計5回開催！

2021年10月から実施しましたミャンマーオンラインスタディーツアーが2024年3月に最終回を迎えました。約2年間に渡り様々なテーマで開催し、改めてたくさんの方々に支えられ、繋がっていることを実感しました。今回、一旦終了しますが、ミャンマー活動はこれからも続きますので、不定期になりますが、ミャンマー現状報告や事業報告という形で今後も開催できたらと考えています。その際は、また多くの方に参加していただけたら嬉しいです。また、地域の「外国人」と、お互いに顔と名前を知り合える関係性を作ることを目指す「世界のお茶会」は、今年もたくさんの方々の出会いをプロデュースしました！

参加者の声

瀬尾美穂さん

小城市地域おこし協力隊 (当時)



小城市でのエチオピアコーヒーに協力しました。ホストとの信頼関係がしっかりできている上でのイベントだったので、とてもスムーズでした。会場の素敵な雰囲気、民族衣装着用のホスト、コーヒー豆を煎るところから丁寧に淹れる演出もよかったです、すごく美味しかったです。立見の方も沢山いらしゃって大盛況でした。

実施概要

受益対象者 | 130人
従事者 | 9人

ご支援・応援・連携いただいた企業や団体など

NGO福岡ネットワーク (FUNN)
公益財団法人 佐賀県国際交流協会



地域を元気にする | 子どもの居場所づくり

佐賀の子どもたちの居場所をより安定・充実させるために



日本一
佐賀県
佐賀市

topics

1 佐賀市内の既存居場所への訪問、ヒアリングを実施。新規立ち上げ希望2団体より相談受付

2 企業からの食品寄付対応及び佐賀市北部郵便局14局とのフードドライブ連携による食支援の強化

佐賀市の委託7年目を迎え、引き続き既存居場所の運営フォロー及び新規立ち上げ希望者2件の相談に対応しました。また郵便局や第一生命とのフードドライブ連携も2年目を迎え、徐々に認知度や寄付量も増加しています。郵便局では年間1,047kgもの食品が寄付され、約20団体に活用されました。また、居場所同士で緩やかな連携が取れる体制構築を目指し、佐賀市の居場所団体同士のネットワーク会議を年に3回開催。その他、子どもたちの活躍の場づくりを目的としたイベント『どんぐりキッズ市場』の開催や、佐賀市と高齢者大学における共同講演、各居場所の臨時スタッフとしての活動なども行いました。

協力団体の声

吉村 香代子さん

NPO法人たすけあい佐賀
よってこランドこども食堂 代表



私が運営するよってこランドこども食堂は今年で5年目を迎えます。最初は小規模でしたが、今では多くの子どもたちが毎月の開催を心待ちにしてくれています。地球市民の会には、フードドライブや農家さんとの繋がりを活かした食材、情報の提供等でお世話になっています。今後も変わらずお力添えをいただければ幸いです。

実施概要

受益対象者 | 子どもの居場所団体20件
支援者 | 団体・個人40件
従事者 | 2人

ご支援・応援・連携いただいた企業や団体など

佐賀市日本郵便株式会社 佐賀北部会 | 田島株式会社
第一生命 佐賀支社 佐賀東オフィス | 株式会社ミズマチ
SAGA COLLECTIVE | 株式会社ブレースホーム
一般社団法人さが・こども未来応援プロジェクト実行委員会 | 認定特定非営利活動法人全国こども食堂支援センター・むすびえ | 『食』でつながるネットワーク協議会 | 循誘子どもの居場所づくり実行委員会



地域を元気にする | ミャンマー農業・コーヒー事業

国境を越えてコーヒーでつながった心



ミャンマー
チン州、ライレンピー町
日本一各地

topics

1 ミャンマー・チン州で
木を植えることから
始めたコーヒーが日本へ!

2 日本各地のコーヒーイベント
に出店し、どんどんファンが
増えています

「森を焼くから森を育てるへ」を目指して、2018年からチン州で開始したコーヒー産地づくり。プランテーションではなく、森の中で自然と共生しながらコーヒーを育て、同時に地域住民の収入向上も図るという事業です。地域の人々が一丸となって集荷、加工、出荷を行い、ようやく日本に到着しました!そして、各地で開催されたイベントで支援者の方々にお手伝いをしていただきながらチン州の生産者が大切に生産したコーヒーを販売しました。国境を超えた多くの人の手を経て、消費者へ届けることができるということを実感しました。

支援者の声

石上健一さん
ヨイマメ珈琲 ロースター



「私の夢はこの村が良くなる事です」ライレンピーに訪れた時に現地スタッフから聞いた声です。それはスタッフだけの願いではなく、村の子供から大人までがそう願っているのが伝わってきました。そんな彼らが0から作り上げた希望のコーヒー。コーヒーを通して彼らの素敵な想いも知っていただけると嬉しいです。

実施概要

受益対象者 | 約2,000人
支援者 | 83人
従事者 | 10人

ご支援・応援・連携いただいた企業や団体など

コーヒーアンバサダー
ヨイマメ珈琲 | イベントボランティアメンバー



地域を元気にする | ミャンマー開発・水力発電事業

電化で条件不利地域の生活向上に挑む



ミャンマー—シャン州、ピンラウン郡

topics

1 電化とは、明かりを届けるだけではない!生活も豊かに変えていきます

2 都市部と村落部の格差を埋め、誰一人取り残さない支援を

ミャンマーでは、都市部と村落部の格差がとても大きいです。電化面では、村落部の50%以上が無電化地域となっています。その中でも特に山深く町から離れ、小規模な集落が散在する「条件不利地域」では、今後電化される兆しすら見えません。そのような地域で、水力発電所の建設、集落への配電、電力による配水を実施しました。電化によって照明が利用できるようになるだけでなく、電気での調理や農産物加工も可能になります。それにより、薪の伐採削減による環境保全、加工品販売による収入安定・向上も目指しています。条件不利地域で電力へのアクセスを改善し、住民生活の質(QOL)向上を実現させます!

担当者の声

クン・ゾーソワ・マウン
タウンジー事務所スタッフ



この事業は国内の治安情勢悪化や物価上昇の影響や、天候や劣悪な道路状況などにより、大変な状況下の実施となりました。しかし、この事業によってピントン村のような条件不利地域の集落の人たちが、電気が使えるようになったり、水の確保に困らなくなったりすることで、本当に幸せな気持ちになることは間違いありません。

実施概要

受益対象者 | 1,680人
従事者 | 7人

ご支援・応援・連携いただいた企業や団体など

日本NGO連携無償資金協力（外務省）



地域を元気にする | ミャンマー環境保全・ゴミゼロ事業

若者主導のゴミゼロ村プロジェクト
「分別でゴミを資源に！」



ミャンマー—
シャン州、ピンラウン郡

topics

1 楽しく、SNS映えを狙った
若者に大人気の
ゴミゼロ村プロジェクト

2 生ごみは堆肥にリメイク!
農業活動を長年やって
きたTPAらしい活動

ミャンマーのピンラウン地域にて、地域の若者を巻き込み「分別でゴミを資源に！」を合言葉に、ゴミゼロ村を作る活動をしています。分別の仕方を歌と踊りで楽しく覚えられる研修、若者主導で毎月実施するごみ収集活動、生ごみから堆肥を作る研修、ごみ計量チャレンジなど、皆が参加したくなる活動を実施。参加者がfacebookで発信することで、周辺の村から「うちもやりたい！」との声が上がっています。現在、周辺地域の治安が悪化していますが、スタッフの安全を最優先にしながら事業を続けています。

裨益者の声

クン・ボン・ミンさん
カウンミー村美化委員会代表



私たちは以前から村を清潔で美しくしようとしてきましたが、困難もありました。地球市民の会が支援に来てからは、村民の知識が大幅に向上し、ゴミ箱やゴミ捨て場を支援していただいて非常に便利になりました。今では私たちの村はきれいな村だと胸を張って言えます。ご協力いただいたりそな財団と地球市民の会に感謝いたします。

実施概要

受益対象者 | 約630人
従事者 | 5人

ご支援・応援・連携いただいた企業や団体など

りそな環境助成
(公益財団法人りそなアジア・オセアニア財団)



地域を元気にする | ミャンマー環境保全・植林事業

森も、人々の生活も同時に守る環境保全事業



ミャンマー—シャン州、リンケー郡

topics

- 1 コーヒーを中心に、1万本以上の植林を実施!
- 2 新事業地リンケーはスタッフの地元。故郷のために頑張っています

今年から、ミャンマー、シャン州のリンケー地域で環境保全事業を開始しました。リンケーはタウンジー事務所から日帰りができない距離にあります。ミャンマー人スタッフの故郷です。農地転用により森が減少していますが、環境も人々の生活も守っていくため、コーヒーを中心としたアグロフォレストリーを普及しています。なかなか日本人が入れない地域ですが、ローカルスタッフが責任を持って植林、畜産、環境保全研修などを進めています。他のNGOも少ない地域なので、研修は地元の人たちに大変喜ばれています。

担当者の声

サイ・トゥン・エー
タウンジー事務所スタッフ



世界中で気候変動が起こり、ミャンマーでは森林がどんどん減少しています。このような大変なときに、環境保全事業を実施できるのは大変ありがたいと感じています。何十年か後に、今植えた木が大きくなった姿を想像すると、嬉しく思います。日本の支援者さんに感謝しています。

実施概要

受益対象者 | 約1,400人
従事者 | 5人

ご支援・応援・連携いただいた企業や団体など

地球環境基金（独立行政法人環境再生保全機構）
緑の募金（公益財団法人国際緑化推進センター）



今、つらい人に寄り添う | 災害後の復興支援

トンガ復興支援奨学金をスタート！



トンガ
トンガタブ島、エウア島、ハアパイ諸島

topics

1 トンガの3校のハイスクール計12名の学費をカバーする奨学金支給をスタート

2 2023年8月に各校を訪問し奨学金を贈呈

2022年1月に発生した海底火山の大規模噴火災害で国民の8割が被災したトンガ。当会は、災害により教育の機会を奪われる子どもがいないよう、被災した生徒を対象とした「トンガ復興支援奨学金」を開始しました。トンガハイスクール、エウアハイスクール、ハアパイハイスクールの12名に年間の学費相当の奨学金を支給しました。8月にはTPAぎふのメンバーと渡航し、各校に奨学金を贈呈しました。保護者からは「奨学金があり本当に助かります」と感謝の言葉もお聞きました。今後は自然災害に負けず、こどもたちを守ることができるよう防災教育などの事業も取り組んでいきたいと考えています。

裨益者の声

リリーさん
ハアパイハイスクール校長



私たち生徒に奨学金という機会を与えてくださり心から感謝しています。このような人道的で思いやりのある素晴らしい活動に参加できることを本当に光栄に思います。皆様に「ありがとうございます」とお伝えしたいです。お一人おひとりのやさしさ、思いやり、そして愛情に感謝し、今後このような機会がさらに増えることを願っています。

実施概要

受益対象者 | 12人
支援者 | さとおや会員8名、1社
従事者 | 3人

ご支援・応援・連携いただいた企業や団体など

朝日テクノ株式会社



今、つらい人に寄り添う | ウクライナ避難民支援

これまでに39人のウクライナ避難民を受け入れました



topics

1 ウクライナ避難民を講師としたウクライナ理解講座シリーズスタート!

日本一 佐賀県 佐賀市

2 月1回以上のネットワーク会議を継続的に実施中

2022年2月24日のロシアによるウクライナ侵攻を受けて、同年3月9日に設立されたSAGA Ukeire Network～ウクライナひまわりプロジェクト～は、佐賀県、佐賀市および佐賀県国際交流協会を中心とした県内のCSOとの官民連携のネットワークです。当会は、このネットワークの立ち上げからずっと事務局を務めています。2023年度は新たに二人の避難民をお迎えし、避難民の自立に向けた支援を行ってきました。その一環として、避難民を講師とした「ウクライナ理解講座」シリーズを開始。2023年度は、ボルシチ教室など6回の講座を開催しました。県民の皆さまと交流し、地域住民として受け入れられるための支援を続けています。

裨益者の声

(左から) イラさん、サーシャさん、ミラさん

私たちは、佐賀にはもう1年以上住んでいます。佐賀の人々のサポートに心から感謝しています。おかげ様で日本の生活によくなりました。私たち3人は日本語を勉強しているし、アルバイトも始めました。佐賀では本当にお世話になっています。(3人が勉強中の日本語で書いてくれました!)

実施概要

受益対象者 | 39人
 支援者 | 93人
 従事者 | 4人

ご支援・応援・連携いただいた企業や団体など
 公益財団法人 日本財団



学ぶ機会をつくる | 地球市民奨学金

世界の子もたちと心の繋がりを
持ち続けるために



ミャンマー・シヤン州
スリランカ・ゴール市

topics

1 ミャンマーのタンボジセンターでは、日本語の勉強もスタート!

2 スリランカの奨学生からの御礼メッセージビデオレターを40周年記念式典で放映

ミャンマー・シヤン州のタンボジセンターでは、11名の子もたちが寮で生活しながら学校に通い、農業を学んでいます。今年度から日本語にも力を入れ始め、日本語能力試験の合格を目指して勉強しています。現地情勢により、パラヒタ(僧院学校)に通う子もたちの支援はできなかったため、次年度へ支援を持ち越すこととなりました。スリランカからは、当会40周年記念式典に合わせて数名のさとごからのメッセージビデオレターをいただきました。奨学金がどのようにさとごへ意識の変化をもたらしたか、さとごの将来の夢や感謝の言葉などが綴られており、会場中を賑わせていました。

支援者の声

伊東山 優子さん



こちらの活動に参加して7年ほどになります。過酷な状況の中でも懸命に頑張る子もたちの様子を教えていただき、恵まれた環境にいる自分に出来る事、それを微力でも積み重ねていく事が大事なのだと感じています。いつもひたむきに頑張る子もたちに、これからも私に出来る限りのエールを送りたいと思います。

実施概要

- 受益対象者 | ミャンマーのさとご 11名
スリランカのさとご 40名
- 支援者 | さとごや会員 110名 (団体・個人)
三井雅史さん
- 従事者 | 12人

2023年度 活動計算書・貸借対照表・監査報告書

活動計算書

(単位:円 | 税込)
自 2023年4月1日 至 2024年3月31日

| 経常収益 | |
|------------|-------------|
| 【受取会費】 | 2,775,000 |
| 【受取寄付金】 | |
| 受取本部寄付金 | 1,295,051 |
| 受取国内寄付金 | 6,291,957 |
| 受取奨学金寄付金 | 4,941,634 |
| 受取ミャンマー寄付金 | 5,428,476 |
| 受取トカ 寄付金 | 323,000 |
| 【受取寄付金】合計 | 18,280,118 |
| 【受取助成金等】 | |
| 受取国内助成金 | 10,854,170 |
| 受取ミャンマー助成金 | 115,995,074 |
| 【受取助成金】合計 | 126,849,244 |
| 【事業収益】 | |
| 国内委託金収益 | 8,837,176 |
| 国内事業収益 | 5,480,558 |
| ミャンマー事業収益 | 232,070 |
| トンガ事業収益 | 1,080,000 |
| 【事業収益】合計 | 15,629,804 |
| 【その他収益】 | 138,131 |
| 経常収益 合計 | 163,672,297 |

| 経常費用 | |
|--------------|-------------|
| 【事業費】 | |
| 人件費 | 34,569,834 |
| その他経費 | 117,634,771 |
| 【事業費】合計 | 152,204,605 |
| 【管理費】 | |
| 人件費 | 9,840,452 |
| その他経費 | 5,088,950 |
| 【管理費】合計 | 14,929,402 |
| 経常費用 計 | 167,134,007 |
| 当期経常増減額 | -3,461,710 |
| 【経常外収益】 | 44,352,089 |
| 【経常外費用】 | 10,111,746 |
| 税引前当期正味財産増減額 | 30,778,633 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 81,000 |
| 当期正味財産増減額 | 30,697,633 |
| 前期繰越正味財産額 | 180,927,197 |
| 次期繰越正味財産額 | 211,624,830 |

貸借対照表

(単位:円 | 税込) 2024年3月31日現在

| 資産の部 | | | 負債・正味財産の部 | | |
|------------|-------------|-------------|-----------|-------------|-------------|
| 科目 | 金額 | | 科目 | 金額 | |
| 【流動資産】 | 前期末 | 今期末 | 【流動負債】 | 前期末 | 今期末 |
| (現金・預金) | | | 未払金 | 7,142,141 | 10,321,980 |
| 現金 | 116,523 | 173,284 | 前受金 | 1,012,000 | 1,000,000 |
| 普通預金 | 150,692,499 | 169,984,855 | 預り金 | 3,997,314 | 1,804,559 |
| 現金・預金 計 | 150,809,022 | 170,158,139 | 仮受金 | 0 | 0 |
| (売上債権) | | | 流動負債 計 | 12,151,455 | 13,126,539 |
| 未収金 | 9,836,884 | 7,610,280 | 負債合計 | 12,151,455 | 13,126,539 |
| 商品 | 9,836,884 | 7,610,280 | | | |
| 貯蔵品 | 300 | 117,918 | | | |
| 棚卸資産 | 162,000 | 116,000 | 【正味財産】 | | |
| 棚卸資産 計 | 162,300 | 233,918 | 前期繰越正味財産額 | 147,608,826 | 180,927,197 |
| (その他流動資産) | | | 当期正味財産増減額 | 33,318,371 | 30,697,633 |
| 立替金 | 100,000 | 11,741 | 正味財産 計 | 180,927,197 | 211,624,830 |
| 預け金 | 19,966,556 | 0 | 正味財産の部 合計 | 180,927,197 | 211,624,830 |
| 前払費用 | 0 | 15,500 | | | |
| ミャンマー未使用資金 | 10,111,746 | 44,352,089 | | | |
| 流動資産合計 | 190,986,508 | 222,381,667 | | | |
| 【固定資産】 | | | | | |
| (投資その他の資産) | | | | | |
| 什器備品 | 92144 | 369,702 | | | |
| 出資金 | 2,000,000 | 2,000,000 | | | |
| 固定資産合計 | 2,092,144 | 2,369,702 | | | |
| 資産合計 | 193,078,652 | 224,751,369 | 負債・正味財産合計 | 193,078,652 | 224,751,369 |

財産目録

(単位:円 | 税込) 2024年3月31日現在

| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
|------------|-------------|------------|-------------|
| I 資産の部 | | II 負債の部 | |
| 1. 流動資産 | | 1. 流動負債 | |
| 現金預金 | 170,158,139 | 未払金 | 10,321,980 |
| 手許現金 | 173,284 | 前受金 | 1,000,000 |
| 普通預金 | 169,984,855 | 預り金 | 1,804,559 |
| 未収金 | 7,610,280 | | |
| 棚卸資産 | 117,918 | | |
| 貯蔵品 | 116,000 | | |
| 立替金 | 11,741 | | |
| 前払費用 | 15,500 | | |
| 預け金 | 0 | | |
| ミャンマー未使用資金 | 44,352,089 | | |
| 流動資産合計 | 222,381,667 | 流動負債合計 | 13,126,539 |
| 2. 固定資産 | | | |
| 什器備品 | 369,702 | | |
| 出資金 | 2,000,000 | 負債合計 | 13,126,539 |
| 固定資産合計 | 2,369,702 | 正味財産 | 211,624,830 |
| 資産合計 | 224,751,369 | 負債及び正味財産合計 | 224,751,369 |

監査報告書

| 監査報告書 | |
|--|------------|
| | 2024年5月14日 |
| 特定非営利活動法人地球市民の会 理事長 山口 久臣 殿 | |
| 監事 工井 敏弘 | |
| 監事 堤 孝行 | |
| <p>私は、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、2023年度(2023年4月1日から2024年3月31日まで)の特定非営利活動法人地球市民の会の業務及び財産の状況について監査を実施いたしました。</p> <p>監査の方法は、重要な会議の議事録その他の重要資料を閲覧するほか理事から事業の報告を聴取し、また財産の状況については証拠書類の閲覧、照合、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行いました。</p> <p>監査の結果、法人の業務の執行に関しては法令及び定款に違反する重大な事実はなく、2023年度の特定非営利活動法人地球市民の会の財産の状況は適正なものと認められます。</p> | |
| | 以上 |



NPO 法人国際協力 NGO センターより
2015年にASC2012の認証を受けました。



非営利組織評価センターより
2019年に佐賀県で初めて非営利組織の信頼性を表すグッドガバナンス認証を受けました。



2023年、当会は40周年を迎えました。

これからの10年間、私たちはどのように歩いていくのかを理事・事務局で言語化しました。

私たちの目指す世界平和と地域社会の発展は、当会だけで実現できるものではなく、多くの仲間と共に地球市民運動を推進していく必要があります。

そのために、地球市民が増え、集い、語らう場を作り、学び合う活動をしていきます。

地球市民“共創”宣言

—ともに世界と地域の次代を創るために—

1 「地球市民運動」の ChanceMaker

すべての人が自身の心の中にある地球市民性と出会う機会をつくる

2 「地球市民」の BaseCamp

地球市民が集い語らい力となる拠り所になる

3 「グローバルNPO」の Pioneer

世界とより広く繋がり、地域により深く根ざし、知見を融合して活動を進化させる

4 「ゴールデンカンパニー」の RoleModel

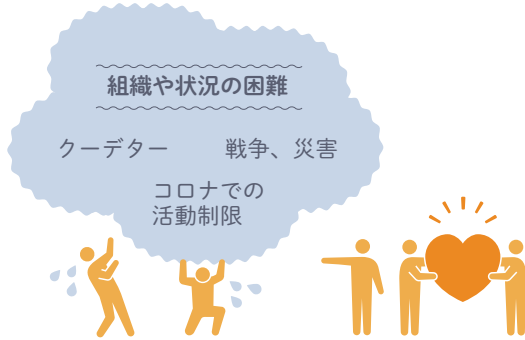
働きやすいだけでなく、会員、スタッフ、関係者すべてが幸せで、高いパフォーマンスを発揮できる組織になる

2023▶2025

多くの地球市民が活躍する社会に向けて

地球市民の会のミッションに基づき、2021年度に3ヵ年方針を策定しました。2023年度に実行したこと、目標に向けた今後の取り組みです。

社会 / 地域の課題や困難にチャレンジし
活躍の場を広げ、「地球市民」を増やしていく



困難を機会ととらえ、地球市民を増やす

2023年度 地球市民の会と関わった人数※ **57,691**人

2025年度までの目標 **40,000**人

2023年度 | 取り組み

- ・ウクライナ避難民受入れ支援
- ・トンガ噴火災害復興支援
- ・ミャンマー復興支援
- ・ミャンマーコーヒー販売事業

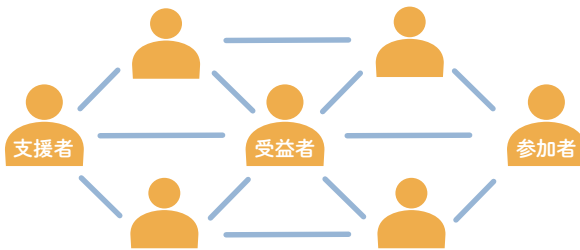


2024年度 | 取り組み

- ・平時・緊急時の災害支援事業

※ 受益者、支援者含む

日本中・世界中に点在する「地球市民」と
繋がり、地球市民運動がさらに活性化・発展する



地球市民が連繋する場をつくる

2023年度 地球市民と繋がる場・機会の増加数 **45**カ所

2025年度までの目標 **100**カ所

2023年度 | 取り組み

- ・地球市民ダイアログ
- ・40周年式典レセプション、カンファレンス
- ・いのちのまつりトークライブ



2024年度 | 取り組み

- ・地球市民招聘プログラム

理念・目標を共有し、スタッフや理事がやりがい
をもって「地球市民」として活動できる組織へ



地球市民が活躍しやすい組織を作る

2023年度 制度設計や現場の声で始めた事業数 **15**件

2025年度までの目標 組織全体の強化

2023年度 | 取り組み

- ・地球市民チャレンジサポートプロジェクト実装
- ・クラウドファンディングサポート事業開始
- ・TPA ミャンマースタッフからの提案および事業実施



2024年度 | 取り組み

- ・働き方改革

地球市民チャレサポプロジェクト あなたのアイデアを地球市民の会と一緒に実現！

わたしたちは地球市民を増やし、活躍の場を作りながら、より多くの事業を生み出す「TPAホールディングス」を目指しています。そこで多くの方々と連携して活動できる「地球市民チャレサポプロジェクト」を策定しています。地球市民が増えていくために、当会がもつノウハウなどを提供し、あなたの挑戦を全力で応援します。





私たちについて

団体概要

名称 特定非営利活動法人地球市民の会
 設立 1983年7月
 (2002年に法人取得、2010年に認定NPO法人となる)

活動対象国

日本国内、ミャンマー、タイ、スリランカ、中国、韓国

体制

本部事務局(佐賀)|職員11名(ミャンマー駐在1名)
 ミャンマー事務所|ローカルスタッフ18名
 会員数300名(正会員、賛助寄付会員、里親会員)

全国のネットワーク

北海道地球市民の会、地球市民の会東京
 地球市民の会ぎふ、地球市民みえの会、神戸有頂天倶楽部
 愛媛地球市民の会、北九州地球市民の会、地球市民の会福岡
 (一社)アイ・オー・イー、(一社)和スポーツさが
 (一社)ユニバーサル人材開発研究所、(同)葉隠

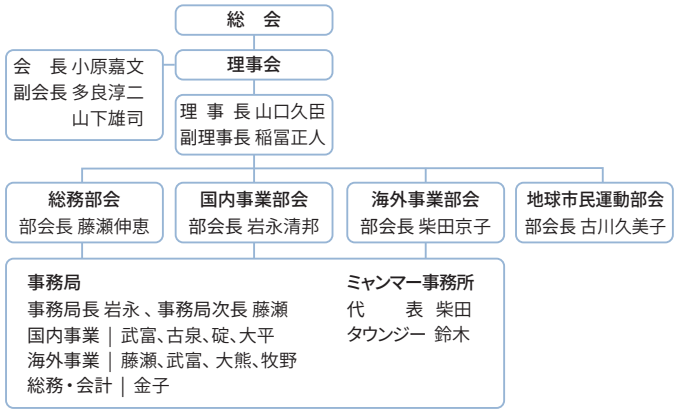
主な褒章

1988年 サントリー地域文化賞
 1989年 国際交流基金地域交流振興賞
 1994年 佐賀県県政功労者知事賞
 1996年 自治大臣表彰
 1996年 厚生大臣感謝状
 2000年 外務大臣表彰
 2003年 にしぎんアジア貢献賞
 2006年 地球倫理推進賞
 2006年 文部科学大臣奨励賞
 2017年 かねのり賞
 2017年 社会貢献支援財団賞

地球市民の会40年の歴史

1973年 「佐賀フランス研究会」設立(地球市民の会の前身)
 1980年 「古賀英語道場・佐賀日仏文化会館」設立
 1983年 「地球市民の会」設立
 1986年 第1回小さな地球計画開始
 1987年 日タイ協力事業開始
 1988年 日韓交流プログラム「かちがらす計画」開始
 1990年 地球市民奨学金開始
 1992年 人間の持つべき文明「テラアピール」発表
 1993年 地球共感シンポジウム、アジア太平洋協力会議 実施
 1995年 地球市民運動全国会議実施、スリランカ協力事業開始
 2002年 NPO法人格取得
 2003年 ミャンマープロジェクト開始
 2008年 創始者 古賀武夫 逝去
 2009年 人間の持つべき文明2009「テラアピール2009」提唱
 2009年 佐賀市中山間地域づくり事業開始
 2010年 国税庁より認定NPOとして認定
 2011年 ASC2008認証
 2011年 東日本大震災復興支援事業開始
 2013年 創立30周年記念・北澤氏講演会
 2015年 ASC2012認証
 2016年 平成28年熊本地震支援事業開始
 2017年 非営利組織評価認証
 2017年 タイ地球市民奨学金終了
 2018年 地球を翔けた異風者 古賀武夫伝 出版
 2019年 グッドガバナンス認証
 2019年 佐賀豪雨災害支援開始(佐賀災害支援プラットフォーム結成)
 2021年 地球市民共生事業開始
 2023年 創立40周年記念式典およびレセプション、カンファレンス

組織図



役員

永久名誉会長 古賀 武夫
 名誉会長 山口 祥義 佐賀県知事
 名誉副会長 坂井 英隆 佐賀市市長

顧問 井戸 敏三
 顧問 西浦 聡子 佐賀県多文化共生さが推進課 課長
 顧問 今村 雅弘 衆議院議員
 顧問 大串 博志 衆議院議員
 顧問 小原 健史 (株)和多屋別荘 会長
 顧問 小山 高生 脚本家
 顧問 坂井 学 衆議院議員
 顧問 薩摩 和男 (株)美々卯 会長
 顧問 三遊亭 園歌 落語家
 顧問 上甲 晃 志ネットワーク代表
 顧問 草場 一壽 今心工房 陶彩画家
 顧問 中尾 清一郎 (株)佐賀新聞社 代表取締役社長
 顧問 原口 一博 衆議院議員
 顧問 福岡 資麿 参議院議員
 顧問 マリクリスティーン 有限会社エムキューブインターナショナル
 顧問 牟田 清敬 牟田法律事務所 弁護士
 顧問 山下 雄平 参議院議員
 顧問 児玉 浩明 佐賀大学 学長
 顧問 古川 康 衆議院議員

特別会員 青柳 達也 佐賀女子短期大学
 特別会員 有岡 大介 有岡合同会社代表
 特別会員 鶴丹谷 清和 TUMANAGEMENT株式会社 代表取締役
 特別会員 古賀 大之 一般社団法人和スポーツクラブさが 理事長
 特別会員 小松 敏正 小松商店 金属部代表
 特別会員 佐藤 昭二 一般社団法人ふる里再生協会 専務理事
 特別会員 副島 正幸 潮音寺住職
 特別会員 田島 広一 田島株式会社 代表取締役
 特別会員 平野 喜幸 NPO法人れんげ国際ボランティア会ミャンマープロジェクトディレクター

特別会員 藤 雅仁
 特別会員 前田 英彦
 特別会員 満岡 聡 満岡内科消化器科医院 院長
 特別会員 峰 悦男 峰公認会計士事務所 代表
 特別会員 宮地 大治 (株)佐賀電算センター 代表取締役社長

会長 小原 嘉文 嬉野温泉観光(株)代表取締役社長
 副会長 多良 淳二 佐賀県地域づくりネットワーク協議会 地域づくりアドバイザー
 副会長 山下 雄司 株式会社サガプリンティング 専務取締役
 理事長 山口 久臣 一般社団法人アイ・オー・イー 代表理事
 副理事長 稲富 正人 佐賀西部広域水道企業団 企業長

理事 泉 万里江 小城市議会議員
 理事 柴田 京子 特定非営利活動法人地球市民の会 ミャンマー代表
 理事 鈴木 亜香里 特定非営利活動法人地球市民の会 ミャンマー担当
 理事 多良 淳二 佐賀県地域づくりネットワーク協議会 地域づくりアドバイザー
 理事 田中 啓之 武雄県税事務所滞納整理担当係長
 理事 鶴田 さゆり 佐賀県総合福祉センター 主任主査
 理事 深川 千幹 佐賀市教育委員会学校教育課指導員
 理事 成尾 雅貴 株式会社あえる
 理事 古川 久美子 一般財団法人文化・芸術の泉アール・フォンテヌ主宰
 理事 藤瀬 伸恵 特定非営利活動法人地球市民の会
 理事 藤戸 小百合 佐賀県農林水産部農業経営課 農福連携コーディネーター
 理事 増田 誠司 株式会社増屋 代表取締役
 理事 松尾 大輔 株式会社松尾クリエイション 専務取締役
 理事 百生 詩緒子 アイ・シー・ネット株式会社 シニアコンサルタント
 理事 片岡 浩二 有限会社片岡電工代表取締役社長
 理事 岩永 清邦 認定NPO法人地球市民の会 事務局長
 理事 山下 雄司 株式会社サガプリンティング 専務取締役
 監事 堤 素行 堤素行税理士事務所
 監事 土井 敏弘 みどりや茶舗 代表

ご挨拶



会長 小原 嘉文

昨年は創立40周年を迎え、これまでの歴史を振り返り、皆様とともに祝うことができました。有難うございました。NPO団体で年月の経過と共に活動が停滞するところもあるようですが、当会はさらにパワーアップして、従来の活動はもとより新しい事にもチャレンジし、歩みを続けてゆきたいと思えます。組織の見直し、若い会員、役員の皆さんの活躍の場を作るなど、これを機に新たな取り組みを進めて新しい地球市民の会に生まれ変わらねばなりません。41年目の新しい歩みを始めた地球市民の会に皆様のさらなるご協力、ご支援、ご参加をよりお願い致します。

地球市民の会より皆さまへ | ご支援のお願い

地球市民の会は皆様のご寄付によって支えられ、活動ができております。会員、寄付、ふるさと納税、ボランティアなど、様々な方法で皆様のご協力を募っております。地球市民の会へのご寄付は寄付金控除の対象です。

action A 寄付で支援する

1 地球市民の会の活動を支える >>> 地球市民サポーター 月 1,000円～

「世界中の人がお互いに支え合い、人の幸せを願える社会を作る」
地球市民の会の国内外の活動を支援します。

2 こどもたちに学ぶ機会を提供する >>> 奨学金サポーター 月 1,000円～

ミャンマー、スリランカの2か国で、経済的に困難を抱える高校生をはじめとしたこども達の教育支援を行っています。

毎月2,000円の寄付で
ミャンマーのこどもが
学校に通えるように

3 今、苦しんでいる人に寄り添う

>>> 地球市民ファンド

災害、紛争、クーデター等で、被害に遭われた方々への緊急支援を行うための基金です。

>>> ミャンマー復興支援基金 月 1,000円～ | 都度

ミャンマーの政変後、人々の命や生活が脅かされている危機的状況の中で、地域住民に寄り添った迅速な支援を行っています。

5,000円の寄付で
5人家族1ヶ月分の食費に

4 佐賀県 ふるさと納税

地球市民の会を選んで、ふるさと納税をするだけ!佐賀県内在住の方もご寄附は可能ですが、総務省からの通知により返礼品などをお送りできませんので予めご了承ください。詳しくは検索! [ふるさと納税 地球市民の会 検索](#)

action B 物品の寄付で支援する

1 古着(ブランド品)

ブランド品(洋服やバッグなど)は買取サービス「Brand Pledge」を通じてご寄付いただけます。

[Brand Pledge 地球市民の会 検索](#)

2 貴金属・カメラなど

お宝エイドで自宅に眠るお宝品を査定し、査定額に10%を上乗せした額が奨学金支援に繋がります。

[お宝エイド 地球市民の会 検索](#)

3 古切手・書き損じはがき

未使用の切手、消印のある使用済み切手、余った年賀状や印刷間違いで出せない官製ハガキを事務局までお送りください。

action C ボランティア・インターンとして参加する

随時募集しています。興味のある方は、事務局までお問い合わせください。

ご支援は
コチラから





認定NPO法人地球市民の会

〒840-0822 佐賀県佐賀市高木町3-10

TEL 0952-24-3334 FAX 0952-26-4922

業務時間 土・日・祝を除く 9:00-17:30



MAIL office@terrapeople.or.jp

HP <http://www.terrapeople.or.jp>

